

平成 29 年度自己評価結果公表シート

作成 平成 30 年 6 月吉日
塚本幼稚園幼児教育学園

1. 本園の教育目標

日本を想い創造的に生き抜くとともに『社会のために役立ちたい』と願う、利他の心で“志”を持つ人材をお育てする。

2. 本園度、重点的に取り組む目標・計画

カリキュラムの精査を行い、柔軟さをもってより良い教育環境を整えていく。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
幼稚園の教育課程の達成・実施に関して、教職員の共通理解をはかる。	新幼稚園教育要領の理解を全教職員で、積極的に推進し、それを実現の教育に添わせるように、具体的な場面について話し合いを行っている。
幼稚園の状況を踏まえて、中・長期的なビジョンと計画を策定する。	新幼稚園教育要領にも示されているように、幼稚園に求められる社会的ニーズも変化してきているが、本園がこれから長期的にどのような社会ニーズに応える必要があるか、具体的に検討を始めている。
教育の質の向上のために、園内研修を充実させる。	幼児の発達の姿をとらえるための研修を定期的実施するとともに、日々の子どもの姿について話し合う機会を毎日の職員会でもつようにし、前向きな意見が出てくるような環境を作成している。
保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情に適切な対応をはかる。	保護者会を定期的実施するとともに、コミュニケーションを多く取ってゆき互いの理解を深めていった。出された意見に対して、必要なものについては園の考えを示し、改善すべきものは改善するように取り組みつつある。

4. 学校評価の具体的な目標計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題については、全教職員が共通に理解し、それぞれの自己評価・取り組み状況を話し合うことを通じて本園としての方針を明確にすることができた。実践するという面では、特に園内だけでなく園外で起こることもその都度、先に対処していたため安心していただけるようになり、落ち着いて教育に全うさせていただけるようになった。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
安全管理	不審者情報が市教育委員会や警察から、随時提供されるようになっている。それに対する園の対施設面での対応と、教員の意識づけ、並びにもっと具体的な管理マニュアルの作成を行うことでほどよい緊張感を保って危機管理をしているが、当園は避難施設となっていることもあり、さらに地震・津波に対する危機管理を徹底したい。
教育指導計画の再構築	幼稚園教育要領の理解を深め、教育指導計画の見直しと充実をはかる。
園に対する保護者の満足度の把握	建学の精神に則り、そして私学の独立性に十分配慮しつつ、子育ての中で保護者が期待する幼稚園像を把握し、現代社会において求められる幼稚園の姿を確認することで、本園のビジョンを策定する基礎としたい。

6. 学校関係者の評価

全ての指導計画において目標値をクリアした。理事長が交代し、当園の存在する意義を十分に考えての様々な計画を考え、実践していくことで最大限の教育を進めていけるよう努力した。

7. 財務状況

平成 29 年度予算は全て完了しましたことをご報告致します。

平成 30 年 3 月 31 日